

キャラクター名  
早瀬 祐樹

プレイヤー名

シンドローム	バロール オルクス		ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	UGNエージェント
	オプション		年齢	31	性別	男
覚醒	無知	衝動	飢餓	初期侵食率	29	%
出自	親の理解	経験	平凡へのあこがれ	邂逅	恩人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	0	1	0			1	行動値	7
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	7
精神	3	0	0			3	戦闘移動	12
社会	3	0	0			3	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			R C	6		交渉		
回避	1		知覚	2		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ストレンジフェイス	
インフィニティエクリアス	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
亜純血	P	N		
シキ	P 好意	N 疎外感		
友人	P 憧憬	N 嫉妬		
アララト	P 信頼	N 黒い泥		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
C:バロール	2	2	Xジャー					
効果:	C-Lv							
黒の鉄槌	1	1	Xジャー					
効果:	攻撃力+[Lv*2+2]同エンゲージ不可							
破碎の顎	5	3	Xジャー					
効果:	攻撃力+[Lv*2+2]							
ワールドシェイカー	3	4	オート					
効果:	《破碎の顎》の使用回数回復、ダメージ+2D							
紡ぎの魔眼	3	1	オート					
効果:	判定D+Lv							
妖精の手	3	4	オート					
効果:	判定D一つを10に変更							
黒の咆哮	3	4	Xジャー					
効果:	攻撃力+[Lv*4] 判定D-2							
黒星の門	1	2	Xジャー					
効果:	判定D+[Lv+1]同エンゲージ攻撃可							
吸着	★							
効果:	重力操作は長期航行には必須だよね							
猫の道	★							
効果:	……寝てる時に使って外に出ないように気を付けよう							
効果:								
効果:								
効果:								

「こんな俺でも、星に手を伸ばせるのかな。」

UGNエージェント一家に生まれた、オーヴァード二世。  
明るく気さくな、必要以上に他人に踏み込まない、どこか飄々とした”いい奴”  
しかし高校生のとある夏にその仮面を壊されて、ようやくちゃんとした”友達”が出来た。  
……友達は友達のまま、もちろん変わることは無い。

親の勧めに従ってUGNエージェントを続けながら大学まで出てエージェントに本腰を入れようとしたあたりで、急に世界が終わりそうだと告げられた。  
深刻な環境汚染に資源の枯渇……どこか遠い未来の話だと思っていたことが、ごく直近の危機であると知らされたのだ。

『プロメテウス計画』汚染された地球を救済するため、移住先の新たな惑星を探索する任務。  
数々の志願者を差し置いて早瀬に声がかかったのは、家族共々UGNに従事する忠誠度、スペースデブリをはじめ浮遊物を操作する能力適正、長期間の任務になつた際にも対応可能な若年のエージェント。その条件に合致したのが彼であった。

最初は少し面喰らい親にも泣かれてしまったが、それでも自分が旅立つことで人々を幸せにできる、友達が暮らす世界を保っていられるならと思い志願を決意。  
ある程度の訓練期間を経て旅立つこととなった。  
……本当の理由である「いつか、自分も星に手を伸ばしてみたかった」というロマンチックな理由は誰にも話さないまま方舟に乗り込む。

AIのアララトですが、「彼のパーソナリティにおいて最も大切にしていた存在」をトレースした結果、ちょっと織姫ちゃんに似てしまった、という感じにしてもよろしいでしょうか。  
死ぬ覚悟はできました、よろしくをお願いします。